

支 通 部 信
同 舟
No.15 5 月 号 5月10日 編集発行
東京都宅地建物 取引業協会 府 中 支 部 編集兼発行人 高野豊次

◎緊急理事会開催

と き 四月十六日午後四時より
場 所 ダイワ不動産
出席者 山村、小林、田中、結城、榎峠、辻、各
理事

要領次の通り

協議及び伝達事項

(1) 代議員選出の件

四月二十八日の業協会設立総会に出席する当支部の代議員を支部長より次の通り任命あり一同これを了解した。

高野、内山、田中、榎峠、結城、石黒、小林、山村、辻、計九名

(2) 支部規定に入会金等内規を設けるの件

支部規定に入会金一萬円を徴収する旨を規定することに関し協議の結果一同これを了承尙これが入会金徴収に伴い看板及びパッチを貸与することと本人及び親子死去の場合に弔慰金を支出することを内規を以て規定することにした。

◎業協会創立総会開催

四月二十八日午後一時より日比谷公会堂に於て東京都宅地建物取引業協会創立総会が開催された。当支部よりは山村、辻、高野、田中、結城、内山の各代議員が出席して議事の審議に参加した。

議事次第

- 一、開会の辞
- 二、業協会設立までの経過報告
- 三、議長団選出
- 四、議事
 - 第一号議案 定款承認の件
 - 第二号議案 初年度事業計画の件
 - 第三号議案 初年度予算案の件
 - 第四号議案 役員選出の件
- 五、新役員挨拶
- 六、来賓祝辞
- 七、萬才三唱
- 八、閉会

尚議事の途中に於て大田地区の入会問題に関し聊か議事の進行をはばみたるものがあつたが議長団の取計らいにより無事午後四時総会を終了東京都宅地建物取引業協会は成立した。

◎定例五月理事会開催

と き 五月九日午後四時より
と ころ ダイワ不動産
出席者 石黒、結城、平井、辻、山村、高野、榎峠、各理事及び加藤監査

要領次の通り

協議及び伝達事項

(1) 支部規定及び名簿作成の件

当支部の支部規定(規約)と名簿を一括した印刷物を発行することに關し協議の結果近く発行のことに一同賛成せり。

(2) 支部部門責任者任命の件

当支部部門責任者を支部長より左の通り任命あり各員これを了承

総務部長 辻 金 吾
経理部長 榎峠 優
出版報道部長 高野豊次
指導部長 結城 等
厚生部長 平井進二郎

(3) 三多摩連合会廃止に伴うの件

三多摩連合会は先に報道の通り今回廃止しこれに代る三多摩連絡会議を設立する解散及び創立の会合は来る五月十四日午後一時より立川商工会議所にて行ふ。当支部よりは各理事出席のことに了解を得た。

(4) 不動産台帳一括購入の件

各店に備えつけを要する不動産台帳は組合が一括購入有償配付することに一同了解

“人と店”

筆者が府中で土地を求むべく当時三協不動産を勤めたことがあるが、その時會つたのが現在の府中不動産を經營している高橋幸徳さんその人である。

幾箇所か現地を見せて貰つたが不幸氣に入るものがなく契約までにはゆかなかつたが炎暑遠隔の地を然も徒歩でよくもあれこれと案内してくれたその心情に対し深甚の謝意を表したものである。

その後府中で私が落着き然も同志同業の仲となる

に及んで尙更彼の氣高き心情をしのぶ様になつた。
君は岩手県花巻の産、明治三十一年生れといふから本年六十七才であるが今以てかくしやくたるものがあり、酒とパチンコさえあれば日々是好日のようである。

その昔地元の農学校を卒業後、親の許さぬ札幌師範の二部に遊学した。そして昭和八年には学校の先生とは凡そ縁遠い三菱鉱業に就職し亦、戦争末期即ち昭和十九年には長野県下に於て油工場を經營したこともある。

昭和三十年宅地建物取引主任者試験に合格しこの道に入つたが爾来今日まで十年、現在は京王線府中駅前到店舗あり仕事は夫人と二人きりで全く地についた格好である。根が温厚で実直の爲親しまれること親の如く集ふ者もまた肉親と同様で、店は益々明朗にして繁昌を呈している。以て老夫妻の今後の自愛と健斗を望んで止まない。

環 流

幹旋調書が吾々の希望に叶い三月二十六日の衆議院本會議に於てとうとう、提出制度廃止となつたことは同慶に堪えない。

然しこれが反対運動に當つて当組合でも一、二の者が何を迷つたか皆が出した所謂千円の拠出金を出すことを拒み組合も亦これを強制することが出来ずに今日に至つた。

ところで反対の運動が効を奏した今日になると千円を拠出した者も皆の顔むけやいづこにありやと疑はざるを得ない状態である。

とに角吾々は志を同じうする団体につき、たとえ一人といえども反旗的な考へ方を持つことは許し難いので今後は嚴につしめ一致協力の実をあげることにしたいものである。

消 息

○武蔵野商事（元天草不動産）店主小林照雄氏は今回郷里に於て良縁を得て帰宅したるを機に旁々商号並びに店舗変更等の披露を四月十八日料亭・大國、に於て行つた。招待者は五十名に達し盛會であつた。

○八広不動産平井氏嚴父死去
八広不動産代表平井進二郎氏嚴父は老衰のため四

月二十四日死去、行年七十七才

○新規会員加入

三愛商事代表 川内萬久 宮西町電(61)九五八四
昭栄商事代表 金田 昇 中河原電(61)三一六〇
日広商事代表 添木 宮 町電(62)六九二一

○免許店のはしり

従来の登録店が期間満了のため申請の結果四月中に免許店となりたるもの次の通り
岩崎不動産 八広不動産

編集後記

○麦畑の上をひばりが高くさえざり、鯉のぼりが空を泳ぐ様に浮んでいる。あゝ五月の風は爽やかである。

○これに反しこの連休続きは山の遭難甚しく親や子を兄弟を失ふ家庭や不幸である。

○景気は依然不活発!!早くよい目をみたいものである。

○業協会になつて組合員もポツポツ増加しているが一人残らず入会してほしいことはひとり筆者丈であるまい。

昭和四十年五月九日夜 高野しるす